

2019年度事業報告

1 事業の概要

北海道内の経済は、10月の消費増税の影響により個人消費等が足踏みするなど「緩やかな回復基調が続いている」から「持ち直しが鈍化している」状況に変わってきました。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大による影響も徐々に広がってきています。

雇用情勢は、改善が進み失業率は低下していますが、有効求人倍率が1.2倍程度と人手不足感が続いています。

そのため、当地方においても人材不足分野が発生しておりますが、当センターの請負、派遣事業を合わせた受注額は前年度まで増加傾向にありましたが今年度は前年度を下回り、当シルバーを取り巻く環境も変化しており、その変化に対応しなくてはならない状況にあります。

そのことから、「就業機会の拡大」と「会員の拡大」について重点的に取り組むこととし、会員一人ひとりの口コミ、役職員による企業訪問活動をとおして、会員の就業機会の拡大に努めました。

事業実績は、前年度に比べ受注額は減少、受注件数及び登録会員数は概ね横ばいで推移しています。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化へ取り組みを進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

◎請負・委任

区分	2019年度	平成30年度	比較増減	対前年比
登録会員数	378人	379人	-1人	99.74%
受注件数	2,159件	2,148件	11件	100.51%
受注金額	167,956千円	172,318千円	-4,362千円	97.47%

◎シルバー派遣

区分	2019年度	平成30年度	比較増減	対前年比
就業延人員	3,203人・日	3,294人・日	-91人・日	97.23%
受注件数	8件	13件	-5件	61.53%
契約金額	17,687千円	17,435千円	252千円	101.45%

2 事業の実施内容

総務関係

1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し、事

業の適正な運営に努めました。

・ 定時総会	令和元年5月28日(火)	場所	登別市労働福祉センター
・ 理事会	7回	・ 総務部会	4回
・ 事業開発部会	5回	・ 班長会議	1回
・ 安全就業委員会	6回	・ 就業調整委員会	5回
・ 会報編集委員会	16回	・ 配分金等検討委員会	2回
・ 理事・監事候補者選考委員会	2回	・ 総務・事業開発合同部会	2回
・ 基本計画策定委員会	3回	・ 基本計画作業部会	6回

2 会員入会の促進

- (1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、会員入会の促進に努めました。
- (2) 毎月、「第2木曜日」と「第4水曜日」に『入会説明会』を開催し、シルバー事業に対する理解と協力を得て会員の入会に努めました。
- (3) 会員の入会促進を図るため、就業の開拓の取組みと併せて、新規会員、特に女性会員の入会に努めました。

◎月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	4	2	3	1	4	1	2	1	2	2	2	3
女性	1	0	2	0	2	1	2	0	0	0	2	0
合計	5	2	5	1	6	2	4	1	2	2	4	3
男性：27名 女性：10名 合計 37名												

3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市や関係機関・団体をはじめ北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターとの情報収集に努めました。

4 情報の提供

会員及び市民への情報提供は、重要な課題です。このためインターネットや会報の発行、並びにボランティア活動など様々な機会を通じて情報の提供に努めました。

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。
- (3) 会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布しました。
(4月号、7月号、10月号、1月号)
- (4) 市の公共施設等に、シルバー人材センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き広報活動に努めました。
- (5) 市民との触れ合いやセンター事業の理解を深めてもらうために、「第9回シルバーまつり(2019)」を開催しました。
・ 日 時：令和元年9月22日(日)

- ・場 所：登別市労働福祉センター
- ・内 容：パネル展、会員作品展、バザー、包丁研ぎ実演、そば食堂、もちまき
飲食コーナー、野菜販売等、健康体操及びゲーム
- ・参加者：市民、会員、役職員等 約300名

5 会員組織の充実

- (1) 地区別懇談会を2月の中旬に開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

◎実施状況

期 日	場 所	班	参加人数
令和2年2月18日	登別市市民会館	9・10・11・12・13・14・15	37名
令和2年2月19日	鷺別公民館	16・17・18・19・20・21・22・23	42名
令和2年2月20日	労働福祉センター	1・2・3・4・5・6・7・8	33名

- (2) 地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたり、各地域班班長に助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めました。

◎16・17・18・19・20班合同懇談会

- 日 時 令和元年6月7日（金）17：30～
場 所 新寿の家（イオン登別店内）
参加者 27名

6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化の促進に努めました。

- (1) 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、役職員としての資質の向上に努めました。

- ・派遣元責任者講習 平成31年 4月16日
- ・令和元年度道シ連定時総会 令和 元年 6月13日
- ・令和元年度事務局長会議 令和 元年 7月11日
- ・令和元年度新任事務局長研修 令和 元年 8月29・30日
- ・令和元年度会計担当者研修会 令和 元年 9月12日
- ・令和元年度道南ブロック会議 令和元年10月31日・11月1日
- ・令和元年度派遣元責任者講習 令和 元年11月 8日
- ・令和元年度安全就業推進員研修会 令和 元年11月14日
- ・令和元年度道南ブロック職員研修会 令和 元年11月21・22日
- ・令和元年度業務担当者研修会 令和 元年12月12日
- ・令和元年度派遣実務担当者研修会 令和 元年12月19日

7 地域社会参加活動

地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

(1) 登別漁港の清掃奉仕活動

今年度は、漁港周辺の工事のため清掃奉仕活動は中止となりました。

(2) アイラブロード（市道カルルス路線）の美化事業への参加

- ・日 時：令和元年7月17日（水）10：00～
- ・場 所：市道カルルス路線（労働福祉センター～陸上競技場）
- ・内 容：植樹樹の除草・花苗の植込み等
- ・参加人数：38名

8 財政基盤の強化

財政基盤の確立のため、国、市からの補助金の増額や公共施設管理等の事業拡大の要請に努めました。また、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市長へ独自要請を行いました。

- ・令和元年9月10日（火）三役と部会長が全国シルバー人材センター事業協会からの支援要望書を添えて、登別市長へ要請を行いました。

9 基本計画の推進

基本計画を策定するため、基本計画策定委員会と基本計画作業部会を設置し、2019年度を最終年度とした検証と総括をし、令和2年度を初年度とする5年間の新たな基本計画を策定しました。

10 情報公開の推進

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。

11 理事会の活性化

現行の各部会、各委員会の組織運営の活性化に努め、合同会議の開催、理事の資質向上を図るための理事の研修会を開催し、理事会と事務局との情報の共有化に努めました。

12 福利厚生の実施

要綱に定めた慶弔にかかる福利厚生施策を実施しました。

事業開発関係

1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に努めました。

- (1) 「会員一人が一就業開拓」を合言葉に、会員各位が口コミ活動、役職員による企業や団体などへの訪問活動を通じて会員の就業機会の拡大に努めました。
- (2) 就業機会の拡大や会員数の増加など、センターの基盤を拡大する取り組みを継続して実施しました。

- (3) 労働者派遣事業の一層の推進を図るため、北海道シルバー人材センター連合会と連携・協力のもと、会員の就業機会の拡大に努めました。
- (4) 大型店舗前でパンフレット等を配布し、シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を呼びかける啓発活動を行いました。

◎日 時 令和元年10月8日(火) 10:30~11:30

◎参加者 30名

・イオン登別店	600部	・アーニス	300部
・コープさっぽろ登別桜木店	300部	・コープさっぽろ登別東店	200部
・トライアル登別栄町店	200部	・コープさっぽろイースト店	400部
		<u>配布部数</u>	<u>合計</u> 2,000部

- (5) 登別市広報誌にパンフレットを折込み全戸配布し、受注拡大と会員拡大等のPR活動を実施しました。(9月号、19,800枚)

2 就業機会の適正化

- (1) 就業状況一覧表の配布や、未就業者への聞き取り調査を実施し、就業の拡大に努めました。
- (2) 公共施設の実態把握、及び就業上における改善点の有無等の確認のためのパトロールを実施しました。一部の公共施設において改善が図られました。
実施施設 12か所
- (3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなどミスマッチの防止解消に努めました。

3 会員の能力向上

- (1) 発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るための技能講習会を開催しました。
- ・第1回草刈講習会
日 時：令和元年 5月14日
場 所：研修室A・B及び陸上競技場周辺
講 師：菖蒲機械 代表 菖蒲 宏 氏
参加者：18名
 - ・第1回剪定講習会
日 時：令和元年 6月 3日
場 所：西公園(登別市中央町3丁目)
講 師：剪定班 班長 舞良 義昭 氏
参加者：14名
 - ・第2回草刈講習会
日 時：令和元年 9月 3日
場 所：研修室A・B及び陸上競技場周辺
講 師：菖蒲機械 代表 菖蒲 宏 氏
参加者：3名

・第2回剪定講習会

日時：令和元年10月 2日

場所：幌別東団地（登別市幌別町8丁目）

講師：剪定班 班長 舞良 義昭 氏

参加者：12名

- (2) 剪定新規就業者の負担軽減策として初期投資器具の一部（脚立・電動バリカン）を期間限定で支援しました。

貸出：1件

- (3) 新入会員がスムーズに就業できるように、接遇研修や就業相談を実施しました。

・1回目 令和元年10月23日（水） 参加者 9名

・2回目 3月に計画しましたが、コロナウイルス感染予防のため4月14日に変更

- (4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を計画しましたが実施には至りませんでした。

4 自主事業の調査・研究

- (1) 新規事業、既存事業の発展・改善等に資するための、「会員提案制度」の積極的な活用に努めました。

提出：0件

- (2) 生活支援事業の業務拡大には至りませんでした。

- (3) 総務部会と連携し、女性会員の増強策について検討しました。

5 情報収集と自己研鑽

他団体等の各種行事に積極的に参加し情報を収集するとともに、自己研鑽に努めました。

安全就業関係

『2019年度 事故防止重点実施項目』のスローガンを設定し、事故防止及び安全就業に努めました。

スローガン

《決めを守り、無事故を目指そう》

1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指しましたが、飛び石等による物損事故が7件発生しました。

- (1) 安全就業実施計画を作成し、年間をとおして安全就業の推進を図りました。

- (2) 新入会員には、シルバー人材センター安全のしおりを配布しました。

- (3) 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙期に重点実施期間を設け、安全パトロールを実施しました。

実施日：令和元年 7月18日（木）、令和元年 8月22日（木）
令和元年 9月19日（木）、令和元年10月10日（木）

場所：市内12件

人員：12名

- (4) 会員に対し、「安全標語」の募集・表彰を行い全会員の安全意識の高揚を図りました。
- (5) ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め、安全意識の高揚に務めました。
ヒヤリ・ハット体験事例 1件
- (6) 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見を実施し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員への提供に努めるなど、会員の安全かつ適正就業の確保に務めました。
- (7) 作業中の安全意識を高めるため、安全ワッペンを就業会員に配布しました。
- (8) 事故に対するペナルティーの付加について検討し、事故報告書の提出を求めることとしました。

2 安全就業普及活動の実施

- (1) 会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。

実施日：令和元年5月28日（火）

- (2) 全国安全週間及び安全就業強化期間に併せ、「安全宣言式」を実施し、安全確認の徹底を図りました。

実施日：令和元年7月1日（月）

- (3) 「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

3 会員の健康管理

- (1) 会員の健康管理の徹底を図るため、健康診断の受診を奨励するとともに受診結果の報告を求めました。

健康診断受診者：234名 未受診者：25名

- (2) 登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を開催しました。

・日 時：令和2年1月16日（木） 14：00～16：00

・場 所：登別市労働福祉センター 大ホール

・講 師：登別市国民健康保険グループ 管理栄養士 藤田 陽子 氏
特定非営利活動法人「おにスポ」 理事長 磯田 大治 氏

・内 容：食事と健康診断について
かるやか体操

・参加者：22名

- (3) 登別市消防署の協力を得て、「救命・救急講習会」を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染予防のため中止としました。

4 交通安全

交通事故防止のため、関係機関の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。また、登別市・室蘭警察署等と連携して地域の交通安全啓発活動に参加しました。

(1) 交通安全講話

- ・実施日：令和元年12月5日（木）
- ・場所：登別市労働福祉センター 大ホール
- ・講師：室蘭警察署交通第1課企画規制第1係長 熊谷 優 氏
- ・講話内容：高齢者の交通安全
- ・参加者：44名

(2) 交通安全啓発活動

- | | | |
|----------------|------------|---------|
| ・令和元年 5月10日（金） | 幌別小学校前 | 参加者 16名 |
| ・令和元年 8月21日（水） | イオン登別店前 | 荒天のため中止 |
| ・令和元年 9月20日（金） | 鷲別小学校前 | 参加者 12名 |
| ・令和元年11月11日（月） | 登別市婦人センター前 | 参加者 10名 |

5 情報収集と自己研鑽

登別環づくり市民委員会（クリンクルセンター）が行っている安全衛生推進会議等に参加し安全衛生活動報告を行うとともに、他企業等との意見交換会を行いました。

指定管理者としての施設管理

当センターが指定管理者として登別市労働福祉センターの管理に関する協定書に基づき、適正な管理運営に努めました。

有料職業紹介事業

有料職業紹介事業を実施しましたが、職業紹介には至りませんでした。

3 事故発生状況

1 物損事故発生状況

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和元年 5月11日(土) 10:00頃	男	登別市中登別町で配送業務のため車両を駐車場に駐車させ、荷物の搬送後車両を後退させた際に、駐車場に停車中のタクシー右前方バンパーに自車右側側面部を接触させ損傷させた。後日タクシー運転手の左肋骨にひびが入っていることが判明した。
2	令和元年 5月14日(火) 11:15頃	男	登別市若草町の歩道内植樹柵内の草刈り作業中(防護ネット使用)に、飛び石により「ジャパンスイミングスクール」駐車場に駐車中の乗用車後部ガラスを破損させた。
3	令和元年 7月31日(水) 14:30頃	男	登別市栄町の工場内除草作業中に、同敷地内駐車場に駐車中の乗用車後部ガラスを飛び石により破損させた。
4	令和元年 8月1日(木) 8:50頃	男	登別市常盤町の個人宅草取作業の休憩終了後、作業を再開しようと立ち上がった際に、足元にあるブロックにつまずき物置横の扉に手を突き扉の一部を破損させた。
5	令和元年 10月3日(木) 10:50頃	男	登別市鷺別町の団地敷地内除草作業中に、地上に出ている汚水管の蓋に芝刈り機を接触させ、汚水管の蓋及び汚水管(塩ビ製)の一部を破損させた。
6	令和元年 10月3日(木) 11:40頃	男	登別市鷺別町の団地敷地内除草作業中に、道営登別西団地集会場入口のガラスを飛び石により破損させた。
7	令和元年 10月7日(月) 14:20頃	男	登別市常盤町のアパート敷地内の除草作業中(防護ネット使用)に、飛び石により窓ガラスを損傷させた。

2 ヒヤリ・ハット事例

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和元年 9月7日(土) 15:15頃	男	登別市片倉町の個人宅の植木の選定作業を終了し、モミジの木の切り口に雨水浸透防止のためゆ合剤の塗布作業中に、脚立の片方の足が土にめり込み脚立ごと土留めの下の隣接地に転落した。 (地盤の強度の確認と脚立の安定性の確認不足)